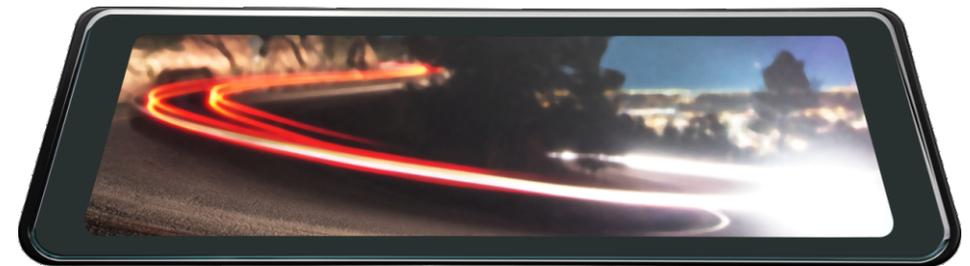


eonon

SMEDIA



取扱説明書

R0011

9.88インチタッチパネルバックビューモニター
ドライブレコーダー機能付き

お買い上げいただきありがとうございます。

- ご使用前に必ず本書をよくお読みにになり、記載された内容に従って正しくお使いください。
- お読みになった後も必要な時にすぐご覧になれるよう大切に保管してください。
- 本機の詳しい取扱・操作方法については、パソコンや携帯電話からもお調べ頂けます。詳しくは、P9をご覧ください。

www.eonon.co.jp

目次

初めにお読みください	3
安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください。）	3
使用上のご注意	7
ユーザズガイド	9
本機の使い方を調べるには	9
よくあるご質問について	10
著作権	10
アフターサービス	10
その他	10
取り付けの前に知ってほしいこと	11
接続・取付部品を確認する（付属品明細）	13
取り付けのポイント	13
取り付け、固定する前に	13
両面テープを貼りつける前に	13
剥がれないようにしっかり取り付ける	13
取り付け	13
取り付け手順	14
各部の名称配線の接続	15
本機の使い方	17
基本操作	17
電源をON/OFF	17
手で電源をオン/オフする	17
モニター画面のタッチボタン操作バーを表示する	17
タッチボタンのご利用について	17
ディスプレイを調整する	18
明るさを調整する	18
可視範囲を調整する	18
画面の表示モードを切り替え	19
本機をリセットする	19

設定	20
設定メニュー	20
カメラ表示モード	20
前後カメラ画面の切り替え	21
バックモード	22
ドライブレコーダーモード	22
電源のON/OFFについて	22
スタータス表示について	22
緊急録画(SOS)機能について	22
手動緊急録画について	22
駐車監視機能について	22
静止画撮影について	22
撮影ファイルのバックアップについて	23
本機で撮影した録画・写真ファイルを再生する	24
パソコンで再生する	25
ソフト「DVR Player」のご利用について	25
走行モード	27
GPS走行軌跡再生	27
車線逸脱警報システム	27
故障かな?と思ったら	28
仕様	30

初めにお読みください

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください。）
 あなたや同乗者への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを記載しています。記載内容に従わず、誤った使用により引き起こされる危害や損害の程度を次のように区分しています。

⚠ 危険「人が死亡または重傷を負う恐れのある危険が想定される内容」です。

⚠ 警告「人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容」です。

⚠ 注意「人が軽傷を負う危険性が想定される内容および物品の損害の発生が想定される内容」です。お守りいただく内容の種類を次のように区分しています。

🚫 禁止（やってはいけないこと）の内容です。

⚠ 注意（警告を含む）しなければならない内容です。

❗ 必ず行わなければならない内容です。

内蔵電池に関するご注意

⚠ 危険

 禁止	<p>液体で濡さない 組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流や電圧でリチウムイオン電池が通電し、発熱、破裂、発火の原因となります。</p> <p>火の中への投入や火気に近づけたり、加熱したりしない 絶縁物が溶けたり、ガス排出や保護機構を損傷するだけでなく、漏れた電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。</p> <p>強い衝撃を加えない 変形したり、保護機構が破損したりする可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>指定以外の電池は使用しない 電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。</p> <p>分解や改造をしない 電池パックを分解したり、改造したりしないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。</p>
	<p>電池の液漏れが発生した場合は 皮膚や衣服に付着したときは、水で洗い流してください。目に入った時は、水で洗った後、直ちに医師にご相談ください。</p>

接続・取付

⚠ 警告



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
 エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視野や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けられない
 交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
 電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

本機は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、何度も貼り直したり汎用の両面テープで貼り付けたりしない
 視野不良または本機がはがれることにより、事故の原因となります。



必ず付属の部品を使用し、確実に固定する
 付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなったりし、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取付する
 説明書に従わずに接続・取付を行うと、火災や故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げにならないように固定する
 ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
 誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。



禁止

コード類は絶対に途中で切断しない
 コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となることがあります。

本機に記載の方法以外で分岐配線をしない
 ケーブルが過熱して、火災、感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところに取り付けない
 発煙や発火、故障の原因となることがあります。

**コードが金属部に触れないように配線する**

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

シガーライターのプラグを確実に挿入する

走行中の震動によって、接続不良を起こすことがあり、本体が過熱して非常に危険です。

シガーライターソケットは定期的に点検・清掃する

シガーライターソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接続不良により発熱し、火災、感電の原因となることがあります。

使用方法**警告**

禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない。

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出さない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

通気孔や端子部分などから本機内部に異物を入れない

金属類や燃え易いものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。発煙、発火、感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

引火性ガス(プロパンガス、ガソリンなど)の発生するような場所では、電池を切り、使用しない

引火・爆発の原因となります。



注意

船舶、航空機、バイク、登山で使用しない

位置の誤差が生じたり、電池がなくなったりして、事故の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。

分解や改造をしない(廃棄のリチウムイオン電池は取り出す分解は除く)

交通事故や火災、感電の原因となります。

風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所で使用しない

火災、感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

自動車の電源を使用するときは、専用のシガーライタープラグを使用する
専用のプラグ以外を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

使用後または長時間使用しない場合はシガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーソケット電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

キャッシュカードやフロッピーディスクなどを本機に近づけない

磁気データが消去されることがあります。

本機をダッシュボードなど直射日光の当たる場所に放置しない

変形、電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。

シガーライタープラグを濡らしたり汚したりしない

火災、感電の原因となることがあります。濡れたり、汚れたりしたときは、綺麗に拭き取ってください。

電源ON時はボリュームに注意する

電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

温度の上昇に注意する

本機やシガーライタープラグは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

異常時の問い合わせ**警告**

万が一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

⚠ 本機の取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中再生操作や設定操作などしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- ドライブレコーダーの各機能は、設定・設置状況・SDカードの状態・走行環境(路面状況など)の影響により、正しく動作しない場合があります。
- ダッシュボード上に明るい色のものを置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に映り込む場合があります。ダッシュボード上に明るい色のものを置かないでください。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機で撮影できる範囲(仕様)には限界があります。予め記録される映像で確認の上で使用ください。
- 本機で撮影した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。本機で撮影した映像には、車両ナンバーなどの個人情報が含まれる場合があります。個人情報の取り扱いおよびそれに関わるトラブルについて弊社は一切責任を負いかねます。
- 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前方の状況を正しく認識できない場合があります。
- LED式信号機を撮影すると、信号機が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。また、色の識別できない場合があります。これらの場合については弊社は一切責任を負いかねます。
- 本機はGセンサー(加速度センサー)で衝撃(加速度)を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 購入直後など十分に充電されていない状態で、本機への電源供給が止まった場合(車のエンジンをオフ、シガーライター電源ケーブルを外す)、撮影時間が短くなったり、撮影できないことがあります。
- 弊社では、破損したファイルや消去したファイルの復元サービスは行っておりません。各ファイル保存領域の空き容量が足りなくなると、上書き保存されますのでご注意ください。残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。
※PX「ドライブレコーダーモード」 - 「撮影ファイルのバックアップについて」をご覧ください。
- 動画ファイルはお持ちのパソコンでも再生できます。ただし、パソコンの性能によっては、映像の再生がコマ落ちしたり止まったりすることがあります。
- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・シユートする可能性があります。暫く時間を置いて冷めたのを確認してからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。充電を繰り返すと、少しずつ使用時間が短くなります。レンズ部を手で触らないでください。触ってしまった場合は、柔らかい布で拭いてください。

⚠ SDカードの取り扱いに関するご注意

- 本機は、SDカード(8GB~128GB、Class8以上)に対応しています。全てのSDカードの動作を保証するものではありません。(本書では、Micro SDHCメモリーカードを、便宜上「SDカード」と表記しています。)
- SDカードは予めフォーマットしてご使用ください。また、カード内にパソコンなどで他のデータを入れずにご使用ください。
- SDカードカードへのアクセス中は、SDカードカードを抜かないでください。ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- SDカードカードは普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- SDカードカードの寿命は保証対象外となります。
- SDカードカードは消耗品です。**定期的に新品への交換を推奨いたします。**長期間使用すると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や、SDカードがエラーになり使用できなくなる場合があります。
- SDカードカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切責任を負いかねます。
- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、稀に本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、本機のフォーマット機能でフォーマットすることにより認識する場合があります。ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録された保護ファイルも含めた全てのファイルが消去されます。フォーマットの際は、必ずSDカードファイルのバックアップを作成してから行ってください。
- フォーマット作業によるSDカードの不具合の修復については弊社は保証できかねます。また、本作業によりSDカードのファイル消去ならびに、その他の損害が発生した場合も、弊社は責任を負いかねます。お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業を実行してください。

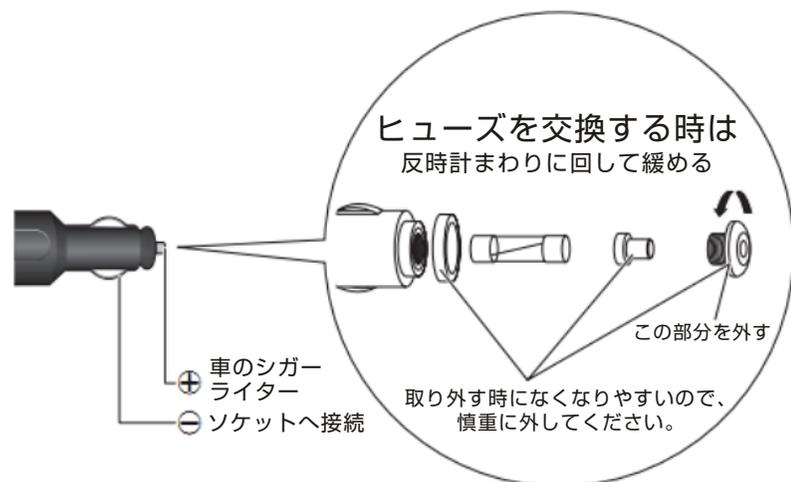
⚠ 内蔵電池の取り扱いに関するご注意

本機は、リサイクル可能なリチウムイオン電池が内蔵されています。十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなってきた場合は、内蔵電池の寿命と考えられます。

ヒューズを交換する時は

- 付属のシガーライター電源ケーブルを接続しても、電源が入らない時や通電しない場合は、ヒューズが切れていないか確認してください。
- ヒューズが切れている時は、新しいミニ管ヒューズに交換して、先端部をしっかり締めます。必ず規定容量のヒューズと交換してください。

※ ヒューズ規格：3A/250V、直径6mm/長さ30mm



ユーザーズガイド

- ユーザーズガイドでは、商品の使いかたや各種設定について説明しています。
- コンピューター、iPhoneやスマートフォン (Android™) を使って、PDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。インターネットに接続可能な環境で、下記URLを入力してアクセスしてください。
- <<http://eonon.co.jp/support.aspx>>
- ユーザーズガイド閲覧時の通信料は、お客様のご負担となります。また、掲載内容は、予告なく変更される場合があります。

本機の使い方を調べるには

本書では、目次(P11~P28)機器の取付、行いたい操作、使用目的、機能名から探せます。

よくあるご質問について

本機ご利用・取付に関するよくある質問については、下記ページのFAQからご確認頂けます。



<http://eonon.co.jp/support.aspx>

著作権

- 次に記載するデータおよびプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などを行うことはできません。
- －本製品は収録されたデータ及びプログラム
- －WEBやインターネット接続機器からダウンロードされたデータ及びプログラム

アフターサービス

- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越しなどにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口へご相談ください。

その他

- 当社は、本製品がお客様の特定の目的に合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望に応じかねます。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 各メニュー画面は工場出荷の状態で表記しています。
- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

取り付けの前に知ってほしいこと

- 車への取付は、必ずこの取扱説明に従って正しく行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取付については、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

⚠ 免責事項

- 製品の取付け、取外しにかかる費用につきまして、弊社は一切負担いたしかねます。有償で取付を行う場合は事前に動作確認を行ってください。
- 商品保証は本体/部品/包装に貼付されているシリアル番号によって管理いたしますので、シリアルナンバーは廃棄せずに大切に保管してください。

⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分及び作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

⚠ 注意

- エアバッグ装着者に取り付ける場合、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず車両の備品及び運転に支障のない場所に本機を取り付けてください。

接続・取付部品を確認する（付属品明細）

付属品

<p>1</p>  <p>1 x リアカメラ</p>	<p>2</p>  <p>1 x GPSアンテナ</p>	<p>3</p>  <p>1 x シガー電源コード</p>	<p>4</p>  <p>1 x リアカメラ延長ケーブル(6m)</p>
<p>5</p>  <p>2x バンド</p>	<p>6</p>  <p>1 x クリーナー</p>	<p>7</p>  <p>1 x 取付用フレーム</p>	<p>8</p>  <p>6 x ネジ</p>
<p>9</p>  <p>3 x ワッシャー</p>	<p>10</p>  <p>2 x 3Mステッカー</p>	<p>11</p>  <p>1 x 英語/日本語マニュアル</p>	

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

両面テープを貼りつける前に

- 両面テープを貼りつけるところは、汚れをよく拭き取ってください。

剥がれないようにしっかり取り付ける

- 正しく取り付けられていないと、走行中に剥がれて事故の原因となります。随時点検してください。

取り付け

- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条を指します。
- 本体は、バックミラー取り付け専用です。バックミラー以外や車室外には取り付けないでください。
- 必ずバックミラーの指定の位置・寸法内に取り付けてください。
- 車種によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 本体をを塞いだり、レンズを汚したりしないでください。
- レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 本体は、落としたり、レンズ部分に触らないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 自動車のフロントガラスに特殊加工が施されている場合は、GPSが受信できない可能性があります。
- 両面テープは、一度貼りつけた後に剥がすと粘着力が弱くなるため、貼り直しできません。必ずバックカメラを仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。



取り付け手順

- 1.付属のクリーナーで取り付け部分の汚れ、油などを取り除きます。
- 2.ミラーモニター本体を取り付けます。
製品の使用環境に基づいて“2元バンド”という革新的な取付方法を利用しています。本体の取付は付属のバンドで純正ミラーに挟み込むだけで完了となります。
①バンドの一端を本体上側の固定具に引っ掛けます。
②純正ミラーに挟み込んで、下側の固定具に引っ掛けます。
③もう一枚のバンドも、①②の手順で引っ掛けます。



3.リアカメラを取り付けます。

車種によって、適切な位置・寸法内に取り付けてください。リアカメラは下記2種類の方法で取付可能です。

注：バックカメラ映像は必ず下記の方向に取り付けてください。バック映像は鏡像のみとなります。



①貼り方

ネジを利用せず、付属の両面テープ①「」を利用して直接貼り付けます。

※両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。

②ネジで取り付けますバックカメラと付属の取付用フレーム「」をネジで接続し、両面テープ②「」(テープに穴あり)を貼り付けます。

適正の位置で、バックカメラを貼りつけ、最後はネジで固定します。

注：リアカメラの配線に「リバーシ信号用コード」があります。そのコードを車側のリバーシ信号に関する配線と接続すれば、バックギアを入れると、本機は自動的にバック映像画面に切り換わります。

4. GPSアンテナを取り付けます。

- 付属のGPSアンテナは車室内取付専用です。
- GPSアンテナは、ワイパーやピラーなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。
- GPSアンテナは、グローブボックス内などには設置しないでください。
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナは、ナビゲーション本体から30cm以上離して設置してください。また、余ったGPSアンテナコードをまとめて置くと、ナビゲーション本体から30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下する場合があります。
- GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。コードが抜けてしまうことがあります。

5. ケーブルを引き回します。

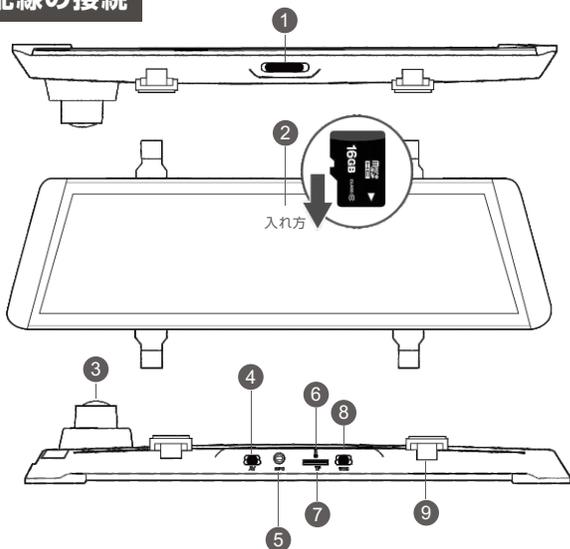
シガーライター電源・バックカメラ・GPSケーブルを助手席もしくは他の位置に引き回します。

6. 本体の取付角度、レンズ角度を調整します。

本体のレンズ部分は左右調整できます。また本体のレンズ角度も調整可能です。



各部の名称 ● 配線の接続



	各部の名称
①	電源ボタン 電源をON/OFFします。詳細はP17「基本操作」－「電源をON/OFF」をご覧ください。
②	液晶画面
③	フロントカメラ レンズ角度は調整可能
④	リアカメラ接続部 リアカメラの配線に「リバース信号用コード」があります。そのコードを車側のリバース信号に関する配線と接続すれば、バックギアに入れると、本機は自動的にバック映像画面に切り換わります。
⑤	GPS接続部
⑥	リセットボタン 細長い物の先端で押すと、本体はリセットされ、自動的に再起動します。
⑦	SDカードスロット SDカードを出し入れする際は、必ず本機の電源をオフにしてください。 ●SDカードを挿入する SDカードの端を持ち、ラベル面を液晶画面と同じ方向でゆっくりと“カチッ”と音がするまでmicro SDカードスロットに挿入します。 ●SDカードを取り出す SDカードの上端をゆっくりと“カチッ”と音がするまで内側へ押し、ロックを解除してから取り出します。
⑧	シガーライター電源ケーブル接続端子 シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断、ショートする可能性があります。暫く時間をおいて熱が冷めてからシガー電源ケーブルを挿入してください。
⑨	固定部 本体を固定する部分です。

本機の使い方

基本操作

電源をON/OFF

本機は、車のエンジンをオン(ACC ON)にすると起動し、自動的に録画を開始します。
(連続録画機能)
車のエンジンをオフ(ACC OFF)にすると、本機は自動的に記録を保存して数秒後に電源がオフになります。

手で電源をオン/オフする

電源オフの状態、本機の電源ボタンを短押しすると、電源がオンになります。
電源ボタンを5秒以上押しすると、本機は自動的に記録を保存して電源がオフになります。

モニター画面のタッチボタン操作バーを表示する

タッチボタン操作バーは、本機動作中10秒以上何も操作しないと自動的に非表示になります。非表示の場合、モニター画面を軽くタッチすると、操作バーが表示されます。



タッチボタンのご利用について

- 「」：設定画面に入ります。注：録画停止中の状態でのみ操作可能。
- 「」：プレイバック画面に入ります。注：録画停止中の状態でのみ操作可能。
- 「」：録画を中止/開始します。
- 「」：前後カメラ画面を切り替えます。
- 「」：静止画を撮影します。
- 「」：録画中のデータを上書きロックします。

ディスプレイを調整する

明るさを調整する

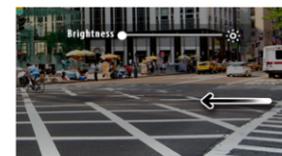
初期状態で、明るさは自動調整に設定されています。
自動調整をオフに設定した場合、モニター画面を左右にスライドすると明るさを調整できます。
※設定に関してはP21「設定」－「輝度調整(明るさ調整)」をご覧ください。

可視範囲を調整する

モニター画面を上下にスライドすると前後カメラの画面の可視範囲を調整できます。



上下スライドで角度の調整が可能



左右スライドで明るさの調整が可能

画面の表示モードを切り替え

本機の【電源ボタン/モード切替ボタン】を軽く押すと、下記三つの表示モードの順に切り換わります。

- ①カメラ表示モード
- ②走行モード
- ③表示オフモード(画面を一時的に消す(Display OFF))

カメラ表示モード

デフォルト設定の場合、フロントカメラの映像が表示されます。
ワンクリックでリアカメラの映像に切り替えができます。



走行モード

画面には走行速度、走行方向などを表示します。



表示offモード

従来のルームミラーとして使用。
「表示offモードにしても、前後のカメラは同時に録画しています。」



本機をリセットする

「リセットボタン」を押すと、本機はリセットされ、自動的に再起動します。
ボタンの位置をP16「各部の名称配線の接続」－「リセットボタン」をご覧ください。

設定

設定画面に入るには、録画を停止する必要があります。
タッチボタンの【】を押すと、録画を停止します。
録画停止後、【】を押して、設定画面に入ります。

設定メニュー



設定項目	設定内容	設定値(大字:工場出荷時の設定値です)
メモリーカード	SDカードの容量状況を確認できます。「フォーマット」をクリックしてSDカードをフォーマットします。	
車線逸脱警報システム	走行している車線を検出し、走行車線を逸脱していると判断された場合、警報音を発します。居眠り運転や対向車線へのはみ出しなどによる車のふらつきを未然に防ぐことができます。	「ON」 / 「OFF」
スピード	車の走行スピードを表示します。	「Km/h」 / 「mph」
走行モード	画面には走行速度、走行方向などを表示します。ONにした場合、30秒以上何も行わないと、本機は自動的に走行モードに入ります。	「ON」 / 「OFF」
日付/時間	「GPS自動設定時間」： GPS時間と同期します。まずタイムゾーンを確認してください。GPS自動設定時間をOFFにすると、手動で日付・時間を設定できます。 「日付を設定する」： 年/月/日 を調整し、OKボタンを押すと設定が完了します。 「時間を設定する」： 時/分/秒 を調整し、OKボタンを押すと設定が完了します。 「タイムゾーンを設定する」：GPSのタイムゾーンを設定できます。初期状態では日本地域「UTC+9:00」になります。他の地域で使用する場合、予めタイムゾーンを設定してください。「24時間制」：24時間制と12時間制を設定できます。	「GPS自動設定時間」： 「ON」 / 「OFF」 「24時間制」： 「ON」 / 「OFF」
録画解像度	動画や静止画を記録する画質を設定できます。	「1296P」 / 「1080P」
ループ録画	録画した映像は設定時間単位で2ファイルとしてSDカードに保存され、SDカードの容量が無くなると、古いファイルから上書きされます。	「1分」 / 「2分」 / 「3分」
Gセンサー	録画が進行している間の振動や衝撃を検知する感度を設定できます。衝撃を検出した場合、自動的に緊急(SOS)録画データとして記録し、自動的に上書きロックします。	「低」 / 「オフ」 / 「高」

駐車監視	駐車監視モードは、本機への電源供給が止まった状態で(車のエンジンをオフ、シガーライター電源ケーブルを外す)、内蔵電池で一定時間作動します。その間に衝撃(感度設定可)や車の動きを本機が検知すると、検知した時点から録画を開始し(録画時間15秒)、さらに録画データを上書きロックします。	「低」/「オフ」/「高」
音量	警告音、ボタン操作音及び再生音量の設定ができます。	「オフ」/「中」/「高」
輝度調整 (明るさ調整)	本機の明るさを調整できます。	「自動」/「手動」
録音	動画録画中に音声も記録するか設定できます。	「ON」/「OFF」
言語	画面に表示する言語を設定できます。	「日本語」/「英語」/ 「簡体字中国語」/ 「繁体字中国語」/ 「韓国語」/「ロシア語」/ 「ドイツ語」/ 「フランス語」
ガイドライン表示	バックモードのリアカメラ画面の、ガイドラインの表示/非表示を設定できます。	「ON」/「OFF」
GPS位置情報	走行中のGPS受信状況を確認できます。	
バージョン	本機のバージョン情報、バッテリーの使用状態を確認できます。	
設定初期化	すべての設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。	

カメラ表示モード

前後カメラ画面の切り替え

デフォルト設定の場合、フロントカメラの映像が表示されます。

タッチボタンの「」ボタンを押すと、前後カメラの映像を切り替えます。

※バックカメラの映像は鏡像のみとなります。



バックモード

どんな状態であっても、ギアをバックに入れると、本機は自動的にバック画面に切り換わります。

バック時のガイドラインの表示/非表示も設定可能です。詳細はP21「設定」-「ガイドライン表示」をご覧ください。

ドライブレコーダーモード

電源のON/OFFについて

P17「基本操作」-「電源をON/OFF」をご覧ください。

ステータス表示について



①録画中に表示

通常録画は、画面の左上角に赤いアイコン「」が点滅します。

緊急(SOS)録画の状態では、アイコンが「黄色」に変わります。

②走行方向を表示

GPS測位が正常に作動する場合、画面の左下角に「」が表示されます。

③現在の日付け、時刻表示

その他：SDカードの使用状態、録音のON/OFF、音量、明るさ、GPS受信状態、バッテリーの状態などは

P20-21の「設定」メニューで確認できます。

緊急録画(SOS)機能について

P20の「設定」-「Gセンサー」をご覧ください。

手動緊急録画について

タッチボタンの「」を押すと、録画中のデータを上書きロックします。

駐車監視機能について

P21の「設定」-「駐車監視」をご覧ください。

静止画撮影について

タッチボタン「」を押すと、静止画を撮影します。

撮影ファイルのバックアップについて

各ファイル保存領域の空き容量が少ない場合は、古いファイルから削除して録画または撮影します。残しておきたい大切なファイルがある場合は、次の方法でバックアップすることをお勧めします。

①SDカードを差し換えます。

バックアップしておきたい録画または写真の撮影後、安全な場所に停車し、本機の電源を必ずオフにしてからSDカードを取り出して、予備のSDカードと差し換えてください。

②パソコンにファイルをコピーまたは移動します。

必要に応じてSD変換アダプターを使用し、SDカードをパソコンへ挿入します。バックアップしたい録画または写真ファイルをパソコン内の適切な場所へコピーまたは移動してください。

※フォルダやファイル構成、ファイル名についてはP24「本機で撮影した録画・写真ファイルを再生する」をご覧ください。

本機で撮影した録画・写真ファイルを再生する

撮影した動画ファイルの再生や写真ファイルの表示ができます。



設定画面に入る前に、録画を停止する必要があります。

タッチボタンの【】を押すと、録画を停止します。

録画停止後、【】を押して、再生画面に入ると、次のフォルダが選択できます。

項目	項目内容	ファイルの構成(ファイル一覧を上下にスライドして一覧表示できます)
	連続録画ファイル	MxxxxA.MOA>>前方。MxxxxB.MOA>>後方
	緊急録画ファイル	SxxxxA.MOA>>前方。SxxxxB.MOA>>後方
	静止画ファイル	DxxxxA.JPG>>前方。DxxxxB.JPG>>後方

ファイルを選んで再生します。

右側の操作バーで「前の動画」/「再生中止」/「次の動画」を操作できます。

パソコンで再生する

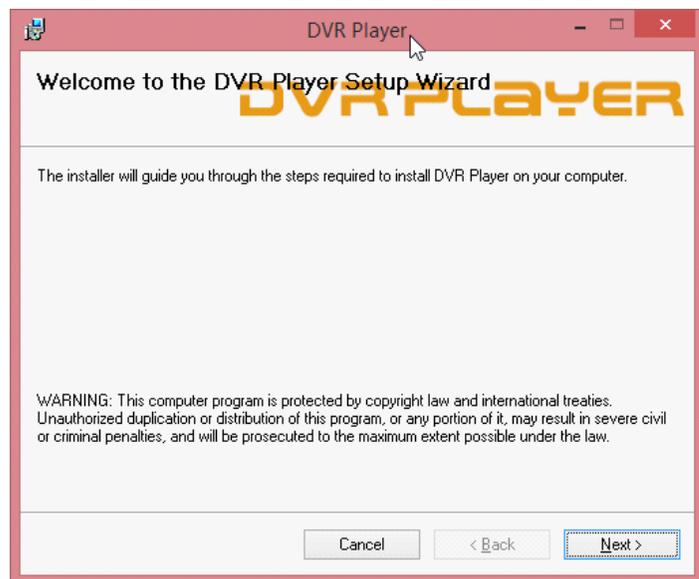
本機から取り出したSDカードをSD変換アダプターを使用してパソコンに挿入すると、SDカードのファイルをパソコンで再生できます。SDカードを本体に挿入した後、本機は自動的に専用の再生プレーヤーソフトをSDカードにコピーしますので、パソコンでそのソフトをインストールしてからご利用ください。

※SDカードをフォーマットすると、再生プレーヤーソフトが削除されます。SDカードの出し入れが必要です。

ソフト名：「DVR Player V2.0.exe」

ソフト「DVR Player」のご利用について

ステップ1：内蔵ソフト「DVR Player V2.0.exe」をインストールします。



ステップ2：SD変換アダプターを使用して、SDカードをパソコンに挿入してから、「DVR Player」を実行します。



ステップ3：「

ステップ4：ファイルのご覧方法について

①ファイル一覧リスト

ファイル欄で再生したいファイルを選択できます。ダブルクリックすると再生します。

②再生画面

ファイルはここで再生します。シークバーで任意の箇所から再生を始めることができます。当時の日付、時間、Gセンサーの状態を確認できます。

③操作バー

「再生停止」「前の動画」「早戻り」「再生中止」/「早送り」「次の動画」を操作できます。また、再生中の動画の「スクリーンショット」、「動画を別途保存」機能も対応できます。



④走行状態

動画再生中、車のGPS走行軌跡、スピード、走行方向を表示できます。

走行モード

GPS走行軌跡再生

本機はGPS機能を搭載しています。車の走行速度、走行方向などを録画データと共に記録可能。専用のDVDプレーヤーで再生すれば、路線や位置情報などを確認できます。



車線逸脱警報システム

P20「設定」－「車線逸脱警報システム」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理・交換の前に、下記の内容をご確認ください。

症状	原因	対処
モニター表示、その他		
フリーズ	SDカードに不備または本体のマイコンが誤動作を起こしている。	1、SDカードをフォーマットするか新しいSDカードに交換してください。 (正規版の8GB~128GB、Class8以上のSDカードに対応)2、本機をリセットするか初期化してください。
本機の表示や動作が乱れる	本機のマイコンが誤動作を起こしている。	リセットボタンを押してください。
画面に何も表示されない/スクリーンが乱れる	ビデオ出力モードになっている表示モードOFFになっている本体のマイコンが誤動作を起こしている。	1、ビデオ出力モードから退出してください。 2、モニター画面をタッチすると画面表示ONになります。 3、本機をリセットするか初期化してください。
自動的にオン/オフできない	給電されていないまたは本体のマイコンが誤動作を起こしている。	シガーライター電源に不具合がないか確認してください。正常に動作する場合、先端部に赤いランプが点灯します。 接続不良がないか確認してください。 リセットボタンを押してください。
GPSアンテナが受信できない	GPSアンテナの接続不良、または取付に問題がある可能性があります。地下室、受信の悪い場所では受信感度が下がります。	接続不良がないか確認してください。GPSアンテナの受信感度については、P15「GPSアンテナを取り付けます」をご覧ください。
バック運動ができない	バックカメラのトリガー配線が正常に接続されていない。	7.バックカメラのトリガー配線の接続を確認してください。詳細はP14「リアカメラを取り付けます。」をご覧ください。
ドライブレコーダー機能に関して		
記録されているはずのファイルが見当たらない	SDカード内の保存領域が不足している場合、ファイルは古いものから順に上書き保存されていきます。	残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。 ※P23「ドライブレコーダーモード」－「撮影ファイルのバックアップについて」をご覧ください。
SDカードのフォーマットに失敗する	SDカードは消耗品のため、寿命の可能性があります。	新しいSDカードに交換してください。
車に乗る時や降りる時に、勝手に駐車監視ファイルが作られる	車に乗り降りする際の振動や人の動きを検知されています。	Gセンサーの感度を調整してください。 P20「設定」－「Gセンサー」
駐車中に録画されたファイルに、異常のない映像が多い	衝撃検知(Gセンサー)や駐車監視の感度が適切ではない可能性があります	Gセンサー/駐車監視の感度を調整してください。P20-21「設定」－「Gセンサー」/「駐車監視」
駐車中に車が衝撃を受けたのに動画ファイルが作成されていない		

症状	原因	対処
ドライブレコーダー機能に関して		
駐車中に車が衝撃を受けたのに動画ファイルが作成されていない	内蔵電池の残量不足、電子寿命の可能性があり ます。	電池を十分に充電してから、駐車監視機能を使用してください。電池不良の場合、お買い上げの販売店またはメーカーサポートまでご相談ください。
運転中に車が衝撃を受けたが動画ファイルが作られていない	衝撃検知(Gセンサー)の感度が適切ではない 可能性があります	Gセンサーの感度を調整してください。 P20「設定」-「Gセンサー」
動画ファイルを再生しても、音声が届かない	音声録音の設定がOFFの可能性があり ます。	音声録音の設定を再確認してください。 P21「設定」-「録音」
再生できないファイルが作成されている	録画中SDカードを取り出した場合や、 SDカードの端子部に触れた場合、 症状が発生する場合があります。	パソコンで、再生できないファイルを削除し てください。
自動的に録画できない/録画できまい	SDカードの挿入不良またはSDカードに不備 があります。	SDカードをフォーマットするか新しいSDカード に交換してください。 (正規版の8GB~128GB、Class8以上のSDカ ードに対応)
映像を再生できない	1、ファイル名をPCで変更した場合は再生でき ません。 2、録画ファイルをPCで加工した場合や本機以 外のカメラで撮影した映像の場合は再生できま せん。 3、SDカードに不備があります。	1、録画/写真をパソコンで再生する場合、ファイ ル名を変更したり、ファイルを加工したりしない でください。 2、SDカードをフォーマットするか新しいSDカ ードに交換してください。 (正規版の8GB~128GB、Class8以上のSDカ ードに対応)
カードがいっぱい/ カードエラー/DING 音を発する	SDカードに不備または本体のマイコンが誤動作 を起こしている。	1、SDカードをフォーマットするか新しいSDカ ードに交換してください。 (正規版の8GB~128GB、Class8以上のSDカ ードに対応) 2、本機をリセットするか初期化してください。

仕様

- フロントカメラ140度広角レンズ
- リアカメラ140度広角レンズ
- ボタン操作音調整機能内蔵
- エンジン連動
- バック連動
- 手動録画・自動録画対応
- ガイドライン表示/非表示
- 駐車監視内蔵
- 重力センサー内蔵
- スピーカー内蔵
- リチウム電池内蔵
- ループ録画対応
- GPS測位対応
- 明るさ自動調整/手動調整対応
- LDWS車線逸脱警報対応
- 記録ビデオの再生、写真撮影、表示時間と緯度と経度表示機能対応
- メニュー言語：日本語、英語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、ロシア語、ドイツ語、フランス語
- 録画時間：1分/2分/3分
- フロントカメラの解像度：FHD1920 * 1296P 30FPS
- リアカメラの解像度：HD1270 * 720P 25FPS
- LCD解像度：400 * 1600
- ビデオ解像度：フロントカメラ：1296p、1080p、リアカメラ：720p、MOV形式でアーカイブ
- 動作電圧：DC 12V
- 製品サイズ：275×76×20mm
- 重量：0.95 kg